

【資料1】調査概要と携帯限定層の定義

調査情報	読売新聞社		朝日新聞社	毎日新聞
	調査テーマ 調査対象 抽出枠 調査手法 調査日 標本サイズ 有効回答数 有効回収率 報道(掲載日)	政治意識 全国の有権者 選挙人名簿 郵送法 2014年1月22日(水)～2月28日(金) 3000 1997 66.6% 2014年3月22日朝刊	憲法、東アジアとの関係 全国の有権者 選挙人名簿 郵送法 2014年2月12日(火)～3月24日(金) 3000 2045 68.2% 2014年4月7日朝刊	時事問題 全国の有権者 選挙人名簿 郵送法 2013年10月30日(水)～12月20日(金) 2400 1497 62.4% 2013年12月26日朝刊
携帯限定層などの定義	【質問A】 固定電話の有無		あなたのお宅には、家庭用の固定電話がありますか。 ①ある…85% ②ない…13% (無回答…2%)	あなたのご自宅にある通信・通話・情報機器はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください(いくつでも)*1 ①固定電話…85.6% ②携帯電話…74.9% ③スマートフォン…47.6% ④タブレット端末…15.0% ⑤パソコン…66.5% (無回答…0.5%)
	【質問B】 電話の使用(利用)状況	あなたのご家庭で使っている電話機の種類を、1つだけ選んで下さい。 ①固定電話だけ…9% ②固定電話と携帯電話の両方…77% ③携帯電話だけ…12% ④その他…0% ⑤電話はない…0% (無回答…1%)	ご自分の家の中で、あなたが電話で人と話すときには、「ご家庭の固定電話」と「携帯電話」のどちらをおもに利用していますか。あなたの利用状況に一番近いものを選んでください。 ①携帯電話しか利用していない…20% ②ほとんど携帯電話を利用し、たまに固定電話を利用…32% ③どちらかといえば携帯電話の利用が多い…13% ④どちらかといえば固定電話の利用が多い…14% ⑤ほとんど固定電話を利用し、たまに携帯電話を利用…10% ⑥固定電話しか利用していない…8% ⑦その他…2%*2	あなたは家から電話をかける時、主に固定電話を使いますか、携帯電話やスマートフォンを使いますか。1つ選んで番号に○をつけてください。 ①固定電話…43.2% ②携帯電話・スマートフォン…54.2% ③電話をかけない…1.8% (無回答…0.9%)
	分析上の定義	固定保有層＝質問B①②…86% 携帯限定層＝質問B③…12%	固定保有層＝質問A①…85% 携帯限定層＝質問A②…13% 携帯依存層＝質問B①②…52% 携帯中心層＝質問B①②－質問A②…39%	固定電話限定層＝質問Aで①が○、かつ②と③が両方×…7.6% 携帯電話限定層＝質問Aで①が×、かつ②と③のいずれか、あるいは両方が○…13.9% 両方持ち(固定メイン)＝質問Aで①が○、かつ②と③のいずれか、あるいは両方が○で、質問Bが①…36.1% 両方持ち(携帯メイン)＝質問Aで①が○、かつ②と③のいずれか、あるいは両方が○で、質問Bが②…40.1% 両方なし＝質問Aで①②③が全部×…0.1% その他＝質問Bで③または無回答…1.7% (無回答＝質問Aで無回答…0.5%)
携帯限定層の影響	携帯限定層の増加傾向	携帯限定層は増加 1.0%(2000.11面接)→1.5%(2001.08面接)→5.6%(2010.03面接)→8.6%(2011.01-02郵送)→10%(2012.01-02郵送)→12%(2014.01-02郵送)	携帯限定層は近年微増傾向 7%(2008.06-07郵送)→7%(2009.02-03郵送)→7%(2009.06-07郵送)→8%(2010.02-03郵送)→9%(2010.04-05郵送)→10%(2010.09-10郵送)→9%(2011.02-03郵送)→10%(2011.11-12郵送)→10%(2012.02-03郵送)→11%(2012.07-08郵送)→11%(2012.08-09郵送)→11%(2013.03-04郵送)→12%(2013.05-06郵送)→13%(2013.10-11郵送)→13%(2014.02-03郵送) ※全国20代郵送調査(2013.11-12)では、20代の携帯限定層は36%	前年は面接調査だったので比較は困難 13.9%(2013.10-12郵送) 参考)8.5%(2012.9面接)
	携帯限定層が回答結果に及ぼす影響	携帯限定層と、固定電話を持つ人との間には、意識の違いのある項目も見られるが、RDDの結果全体にはほとんど影響していない	・意識の差は「固定電話の有無」によるのではなく、「年代別の意識の差」が反映しているとみられる ・2013年20代郵送調査では、固定保有層(63%)と全体平均で1ポイント以上の差がついたのは全項目の半数近くにとぼる	2013年郵送調査の全回答と携帯限定層を除いた回答の比率を比較したところ、28質問247項目のうち、比率の差が1ポイント未満の項目は232(全項目中94%)、差が1ポイント以上2ポイント未満の項目は15(全項目中6%)、2ポイント以上は0
	RDD調査への評価	「現行の固定電話を対象にしたRDD調査についても、携帯限定層を対象に含めたとしても、集計値が大きく変動する可能性は低い」	「全年代調査では現在のところ郵送調査のデータからは、RDD調査への携帯限定層の影響は見られないが、若者にターゲットを絞ったとき、携帯限定層のフェイス構成を把握してRDD調査の集計ウェイトに反映する必要性や、携帯限定層にもアプローチする別の手段について考える必要が出てくる」	「2013年郵送調査では携帯限定層が有権者全体の1割を超えていたが、携帯限定層を含めても除いても意識にほとんど違いが見られなかったため、それが原因でRDDによる推定値が偏るとは考えにくい」

注) *1 実際の設定はイラスト付き(下図参照)



*2 【質問A】【質問B】とも選択肢は調査票に記載された順。朝日の質問Bの「その他」の比率には無回答が含まれている

【資料2】携帯電話が各階層のカバレッジに及ぼす影響

	読売新聞社						朝日新聞社						毎日新聞社				
	構成比	固定保有率	携帯依存率	携帯依存率			構成比	固定保有率	携帯依存率	携帯依存率			構成比	固定保有率	携帯依存率	携帯依存率	
内閣支持	支持する					内閣支持	支持する	52	84	14	53	内閣支持	支持する	50	86	14	53
政見支持	支持しない					政見支持	支持しない	39	86	12	50	政見支持	支持しない	28	90	10	50
性別	自民					性別	自民	38	86	11	52	性別	自民	37	87	13	51
	民主						民主	5	83	11	37		民主	5	87	9	40
	無党派						無党派	42	84	14	56		支持なし	39	84	15	59
年代	男性	48	87	12		年代	男性	47	87	12	56	年代	男性	47	86	16	57
	女性	52	86	12			女性	51	84	13	49		女性	53	87	12	51
	20代	8	63	37			20代	8	62	37	94		20代	10	66	33	90
	30代	14	66	33			30代	16	68	32	81		30代	16	66	34	76
	40代	17	88	11			40代	16	89	10	64		40代	16	90	10	63
	50代	19	94	5			50代	15	93	6	54		50代	17	93	7	53
	60代	22	93	6			60代	20	92	5	41		60代	21	91	9	49
	70歳以上	20	95	1			70歳以上	24	93	4	19		70歳以上	21	96	4	20
都市規模	大都市	27	81	17		都市規模	大都市	27	84	15	55	都市規模	大都市	28	82	18	56
	中核都市	16	86	12			中核都市	37	86	13	51		中核都市	23	85	14	53
	中都市	24	86	11			中都市	26	86	11	50		小都市	39	87	12	54
	小都市	23	90	9			小都市	10	85	10	53		町村部	10	89	9	50
	町村	9	93	6			町村	27	84	15	71		お勤め	14	80	20	69
	給与所得者	46	82	17			事務・技術職層	18	78	22	72		自営業主・自由業者	15	92	7	56
	商工自営業・自由業	12	91	8			製造・サービス従事者層	7	94	4	50		家族従業	7	100	0	34
	農林水産業	3	93	5			自営業者層	3	95	5	41		専業主婦(夫)	8	91	10	44
	専業主婦	15	88	11			農林漁業者層	17	88	11	39		学生	3	79	18	93
	学生	1	77	23			主婦層	27	88	7	31		無職	2	92	8	29
	無職	22	92	5			無職・その他						その他	25	89	11	36
	その他	1	79	16									中学校	11	89	9	34
	小中学校	12	88	10			小・中学校	13	87	8	32		高校	42	87	13	53
	高校	52	90	9			高校	41	89	10	48		高専・短大・専修	20	86	14	58
	大学・短大	33	83	16			専門学校	10	83	17	61		大学	24	83	17	62
	大学院	2	70	30			短大・高専	9	89	11	63		大学院	2	70	30	75
							大学	24	81	18	61		わからない	1	50	25	25
							大学院	2	70	27	70		北海道	5	92	8	42
													東北	7	84	15	58
													北関東	12	89	10	49
													南関東	11	84	16	59
													東京	9	86	14	51
													北陸信越	7	92	7	50
													東海	12	82	16	57
													近畿	16	84	15	52
													中国	6	90	9	53
													四国	3	74	27	63
													九州	11	83	17	60

注) *1 構成比はDK/NAも含めた割合

*2 読売の都市規模分類は、大都市＝東京23区と政令指定市／中核都市＝人口30万人以上の都市／中都市＝人口10万人以上の都市／小都市＝人口10万人未満の都市／町村。朝日は、大都市＝東京23区と政令指定市／中都市＝有権者10万人以上／小都市＝それ以外の市／町村

*3 職業分類は比較しやすいよう各社の選択肢配置を整理した

読売の選択肢揭示順は、「農林水産業／商工自営業・自由業／給与所得者／専業主婦／学生／無職・その他」
毎日の選択肢揭示順は、「お勤め／自営業主・自由業者／家族従業／専業主婦(夫)／学生／その他／無職」

*4 学歴は「短大」と「専門学校」の分類が各社で異なる

*5 住居形態詳細→持ち家(一戸建て)／持ち家(マンション・アパートなどの集合住宅)／賃貸住宅・社宅(一戸建て)／賃貸住宅・社宅(マンション・アパートなどの集合住宅)